

福井県立大学と小浜市による連携協定に基づく実施内容

(1) これまでの取組み

- ・ 福井県立大学は、海洋生物資源学部が所在する小浜キャンパスを中心に小浜市と連携。
- ・ 小浜市の海洋資源活用に向けた研究協力や小浜キャンパスを育てる会による交流事業など、相互に協力しながら様々な取組みを展開。

【取組例】

鯖、復活プロジェクト

- 福井県立大学、小浜市、福井県、小浜市漁業協同組合等が連携し、刺身で提供可能なサバの養殖など、サバ復活を目指すプロジェクトを推進（H28～）

小浜キャンパスを育てる会との交流

- 学生・会員による市の歴史的行事（お水送り）参加、教員による講演会 等

- ・ 今後もさらに連携を深めるとともに、永平寺キャンパスの各学部とも連携し、地域の発展と地域で活躍する人材育成を目指す。

(2) 連携協定に基づく主な実施内容

漁家民宿から小浜市の観光産業の活性化について学ぶカリキュラムを新設

- ・ 市が活性化に向けた検討を進める漁家民宿をフィールドに、学生達が民宿体験や地域住民との交流を通じて、学生目線で振興策等を考える新たな科目を、海洋生物資源学部の専門科目として新設します。

- | | | |
|-------|--|----------------------------------|
| ■ 科目名 | 海洋生物資源学特別講義Ⅲ（ブルーツーリズム） | 区分：専門科目（前期集中） |
| | 対象：海洋生物資源学部2～4年 | 担当教員：地域経済研究所 講師 江川 誠一（協力教員として派遣） |
| ■ 内 容 | 漁家民宿を活用した観光振興策についての事前学習、民宿経営者との座談会、宿泊体験、教育旅行体験（シーカヤックや魚さばき体験等）、ワークショップ等を実施予定 | |

薬用作物の産地化・社会福祉の推進など小浜市の課題解決に向けた協力・支援

- ・ 市が推進する薬用作物の産地化や活用、社会福祉の推進などの課題について、生物資源や福祉などの分野における県大のシーズを活用し、解決に向けた市の政策立案・事業運営をサポートします。

- | |
|--|
| ■ 市が若狭東高校と進める薬用作物の栽培・食品等への活用に向けた栽培技術、成分評価、保存方法等への助言・アドバイス等（生物資源学部 等） |
| ■ 地域生活支援拠点の整備に向けたアドバイスや障害者の生活支援、社会参加の促進に向けた勉強会の開催（看護福祉学部社会福祉学科） |

小浜キャンパスを育てる会による支援拡大

- ・ 小浜キャンパスを育てる会の交流事業の拡充や情報発信力の強化などを通じ、育てる会の会員拡大を目指します。

- | | |
|--------------|---|
| ■ 育てる会概要 | 会員数約185名・企業等（小浜市内を中心とした個人約140名、企業・団体会員約45社・団体） |
| ■ 会員拡大に向けた取組 | 学生と地域住民等とのつながり強化（県大が小浜市をフィールドに実施する教育活動への支援 等）
育てる会の周知・PR活動の強化（事業参加者へのPR、公共施設等を利用した情報発信（広報誌の設置等）） |

その他

- ・ 部活動等の合宿時における県大生による市内各施設の利用を促進し、交流人口の拡大を目指します。

- | | |
|--------|--|
| ■ 合宿補助 | 県大のサークルや部活動等が市内で行う合宿に対し宿泊費ならびに市所有施設の使用料を補助 |
|--------|--|